

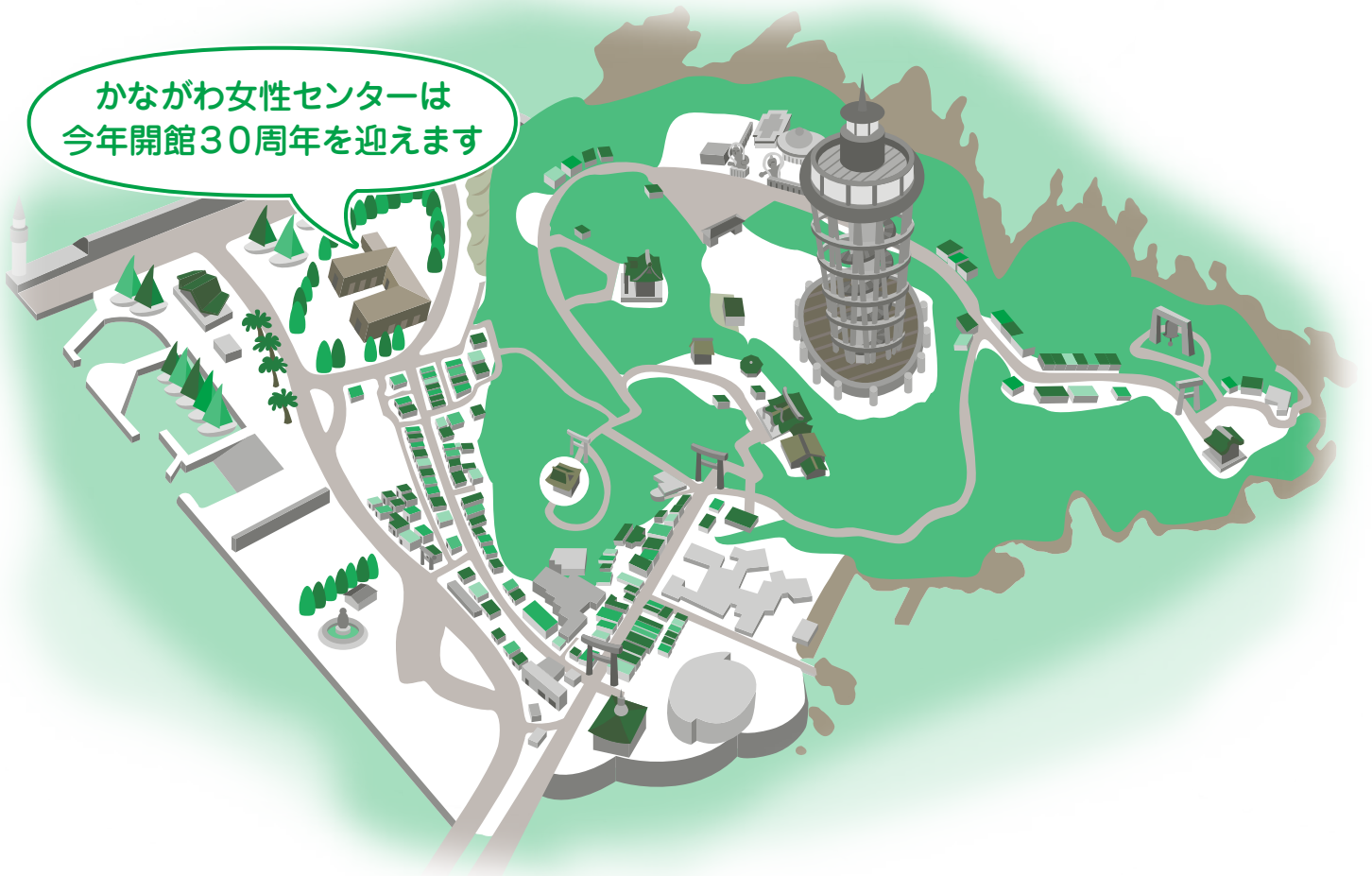


# 地球

2012年 秋号

男女が共に生きる情報紙 VOL.94

かながわ女性センターは  
今年開館30周年を迎えます



## かながわ女性センターってどんなところ？

もくじ

- かながわ女性センター  
女性の向上心の後押しをします ～今までもそしてこれからも～  
主な施設をご紹介します！
- 暑日雑感
- タケダキッズ(事業所内保育施設)を見学しました！
- インフォメーション
- 編集後記



# 女性の向上心の後押しをします～今までもそしてこれからも

江の島にある、かながわ女性センターは、今年で開館30周年を迎えます。1982年(昭和57年)、全国に先駆けて、女性の自立と社会参加を促進するための施設として設立されました。賑やかな観光地の中にあるこの建物に一步踏み入れば、静かで落ち着いた雰囲気包まれます。この、かながわ女性センターを訪れ、館長の久保満里子さん、同センター参画推進課長の新川容子さんにお話を伺いました。

**Q** この30年、男女共同参画社会に向けて、女性たち、男性たちの意識はどのように変化してきましたか。

**A** 昭和54年の全国意識調査で「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について約70%の人が賛成していましたが、平成21年の調査では賛成と答えた人々が約40%であり、性別役割分担に対する意識の変化がみられます。また、政策・方針決定の場への女性の参加(議員や審議会委員、企業の管理職等)も徐々に増えています。この30年間、女性差別撤廃条約、男女雇用機会均等法や育児・介護休業法などの制度ができ、社会、法制度の変化の中、女性が職業を持ち、働き続けるという環境が整いつつあるのではないのでしょうか。

イラストやグラフで「男女共同参画」について分かりやすいパンフレットがありました!

**Q** 女性の地位向上がなされている中で男性から女性に向けての暴力(DV)をよく聞きますが・・・女性たちが自ら声をあげるようになったのでしょうか。

**A** それもありますね。でも今の自分の状況がDVかどうか判らないと言う人がいます。パートナーからおまへはバカだとか、ことごとく人格を否定される暴言をうけるが、これはDVなのでしょうかと相談もあります。まずは相談してほしいです。このセンターだけでは、解決できないケースには関連の相談機関を紹介し、経済的事情で現状から抜け出せない女性には就職などの自立支援の相談にもなります。でも、女性に経済力や地位があつたとしてもDVの被害にあう方もいらっしゃいます。最近は高校生の男女交際でもDVがあり(デートDV)、本人は気付かずまわりの人が心配しているというケースがあります。相談するまでに至らなければ自分の状況はどうなのだろうと思う方のために「DV気づき講座」を女性センターだけでなく、センター外でも開く予定です。そしてDVを若いうちから知ってもらうために高校生、大学生に向けての出前講座もあります。

また、最近セクシャルハラスメントの相談も多いです。3・11の震災後、経済が下降気味となり労働環境が悪化し、弱い立場の人への様々なハラスメントがおきているのかもしれない。

DV気づき講座～こんな講座もあるんですね。チラシを見てなるほどと思いました。

(遠藤 記)

**Q** 30周年記念イベントがたくさん予定されているようですが、お薦めのものがあれば教えてください。

**A** 大きな事業として11月10日～11日の2日間、「江の島会議2012」と称して、「これからの“安心”のかたち～経済・地域・家庭のグッドバランスがもたらす効果～」を全体のテーマとして、基調講演、パネルディスカッション、分科会を行います。シンポジウムでは各界のパネリストを招き、経済・地域・家庭の視点から、今回のテーマを考えていきます。それから、2日目の分科会のひとつとして、3・11を契機とした防災関係のものを企画中です。避難所で女性の視点が欠けていたためいやな思いをしたなどの話があり、防災対策に女性の意見を反映させる必要があるというところから、防災関係も取り上げる予定です。どなたでも参加できます。その他、「アイランドフェスタ江の島」として10月21日にも楽しいイベントがあります。是非、お出かけください。

記念イベントの他にも注目の講座や企画がたくさんあります。例えば育休中の方のための「しなやかワーキングライフ講座」、起業を考えている方に「女性先輩起業家相談」、ミニ政経塾とも言える「江の島塾」など盛りだくさんです。ホームページを開いてみてください。お役立ち情報に出会えるかも。一部チラシは市内の市民センター・公民館にもあります。

**Q** 久保さんは今年の4月から女性センターの館長になりましたが、これからの抱負を聞かせてください。

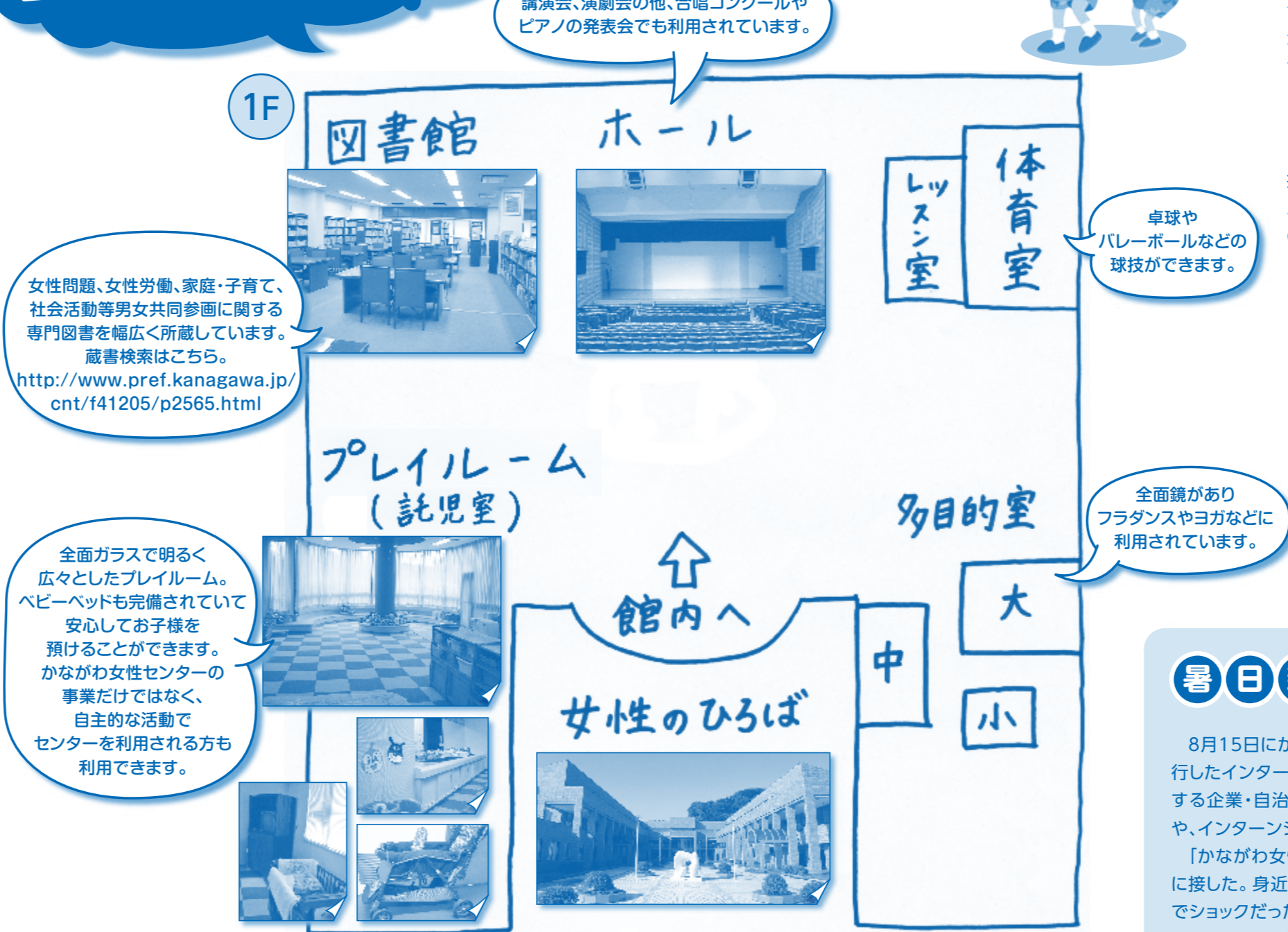
**A** やはり女性が政策・方針決定に関わらなくては社会全体のシステムがなかなか変わらないと思いますので、ここでいう講座(江の島塾やチームリーダーセミナー等)が活かされるといいと思っています。各県、市町村に男女共同参画センターができて、いろいろな講座もありますが、女性センターでは、これからも「女性の総合相談」で様々な悩みを抱えている方への手助けと、政策・方針決定に関わってきたい女性たちの後押しをしていきたいと思っています。

## インタビューを終えて

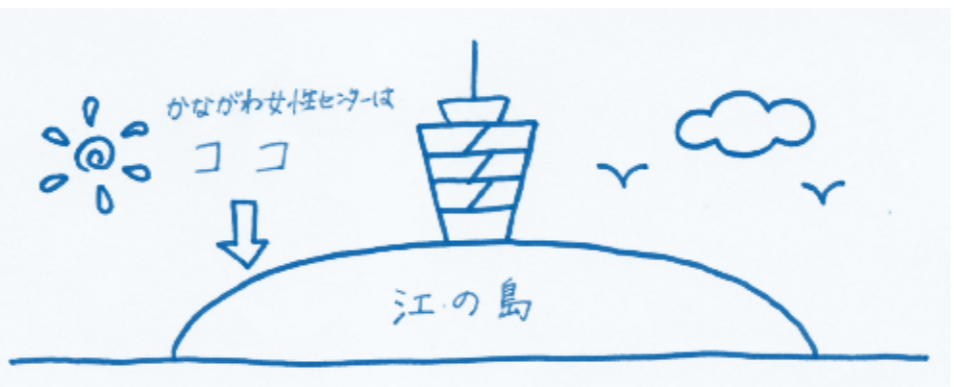
久保館長、新川さん、たくさんのお話を聞かせていただきありがとうございました。これからも男女共同参画社会に向けてのさまざまな情報の発信を期待しています。帰りに桟橋から見た海が青くきらきらと輝きとてもきれいでした。

(遠藤 記)

## 主な施設をご紹介します!



**探検サービス**  
このマークのついた講座やイベントに参加する際にご利用できます。



かながわ女性センターの利用者は、昭和57年の開館から今年8月で400万人を超えました。女性センターという施設名ですが男性も利用できます。正面入口から館内へ入ると天井が高く吹抜けになっていて、中庭が望める大きな窓ガラスからは日光が差し込みとても開放感があります。1階には定員500名の大きなホールや、日本を始め海外の学者も女性労働等の貴重な資料を求め訪れることのある図書館、育児中の方が講習やイベントに参加する際にお子様を預けることができるプレイルーム(託児室)の他、体育室や大中小3つの多目的室があります。2階には視聴覚室の他に研修室2部屋、会議室が3部屋、総合受付とレストランもあります。3階は宿泊施設になっていて、和室を中心に17部屋あります。30年前に建築されたことを考えると、その広さと設計に驚かされます。まだ訪れたことのない方は、この30周年のイベントをきっかけに一度訪れてみてはいかがでしょうか。

施設利用受付 ☎0466-27-2112 (開館日の9:00~17:00)

神奈川県内の小中学生が施設内を探検できる面白い企画もあります。2人以上で、クラス単位での社会科の授業、部活動やガールスカウトなどの申し込みも可能だそうです。女性センターの職員による説明やクイズに答えながら館内を見て回り、小学生は約45分、中学生はワークショップを含む90分のコースです。参加費は無料なので、総合学習の課題に活用してみるのも良いのではないのでしょうか。

その他高校生向け、市町村職員向け、教職員向けの研修プログラムもあります。  
(岸田 記)

相談窓口のご案内	【一般相談】(電話・面接) ※面接は予約制	
	○女性への暴力相談・・・☎0466-27-9799	○こころからだの健康相談・・・☎0466-27-6000
	○悩み一般相談・・・☎0466-27-6008	○セクハラ相談・・・☎0466-28-2367
	【専門相談】(面接) ※予約制	
○弁護士による法律相談 ☎0466-27-9799 (女性への暴力) ☎0466-27-6008 (悩み一般) ☎0466-28-2367 (セクハラ)	○家事専門相談員による夫婦・家族のトラブル相談 ☎0466-27-9799 (女性への暴力) ☎0466-27-6008 (悩み一般)	○精神科医師による精神保健相談 ☎0466-27-6000 (こころからだの健康)

## 暑日雑感

8月15日にかながわ女性センターでのインタビューに同行したインターンシップ(学生が在学中に自分の専攻に関連する企業・自治体に体験入社する制度)の学生に男女平等や、インターンシップに参加した感想を聞いてみた。「かながわ女性センターに同行して初めてDVという言葉に接した。身近でそういう経験に出会ったことが無かったのでショックだった。今まで、学生ということもあり、自分の意見をきちんと述べる事ができる環境が整っていたことを実感し、インターンシップに参加して自分のやっている学問に対する意識が広がった。実際に経験をすることにより、頭の中でまとまっていた考えにも問題点があり、これから取り組む方向性が見えてきたと思う」と話してくれた。自分の言葉で自分の意見をきちんと話すことができ、向かい合った問題に真面目に取り組んでいる若い女性に出会うれしかった。

朝日新聞で「ロンドン五輪は、「女性の大会」という側面を持つ。参加204カ国のうちこれまで女子選手を派遣してこなかったカタール、サウジアラビア、ブルネイの3カ国から女子選手が参加。すべての競技が男女で実施された。近代

スポーツの発祥地で、やっと男女の機会均等が実現した。」という記事を目にした。

しかし記事の中で同時に、男子と女子の待遇差は歴然としていて、日本のサッカーの場合、飛行機の座席が、男子はビジネスクラス。ワールドカップで優勝した女子は少し広いエコノミークラスだった。オーストラリアのバスケットボールでも銀メダル常連の女子が少し広めのエコノミー、男子はメダルを取っていないにも関わらずビジネスクラスでの移動だったと伝える。ジェンダー格差は目を凝らさなければ見えてこない場合がある。しかし、歴然とそこにある。さらに記事は、欧州の女性団体が、男女差別を禁じた五輪憲章の順守を求めたのに対し、IOCロゲ会長は、「男女同権の実現にはまだ課題が多い」と認めたと締めくくっていた。

男女平等の実現とは言葉で書くと容易に感じられるが、一人一人が自身の周りで少しずつ格差を是正し続けることでしか到達できないのかと思った。次の五輪では今回より一歩前へ進んで欲しい。

(川辺 記)



# タケダキッズ(事業所内保育施設)を見学しました!

育児と仕事の両立の支援を目的に、2011年4月、武田薬品工業株式会社湘南研究所にオープンした事業所内保育施設「タケダキッズ」を訪ねました。

ここにいるのは、両親または、父親もしくは母親が湘南研究所に勤める0歳児から5歳児まで55人。通常保育は通常8時から18時30分で、最大20時まで延長可能だそうです。



生後57日以降からお預かりしていますが、育休が取れる人は、6か月以降からとしています。配偶者が他社で働いている方でも、育児休暇取得可能な人は同様です。

担当者の案内のもと、整然として、迷子になりそうな研究所内の廊下を渡り、ドアを開けるとタケダキッズに到着。



ドア一枚で保育所とオフィスが分かれていて、不思議な感覚になりながらも、中に入ると、大きな窓で開放感あふれる部屋。55人にしては広い印象を受ける空間で、担当の方によると80名程度までは受け入れ可能とのこと。

年齢に応じたクラスはあるものの、大きな部屋は子どもの背よりやや高いぐらいの棚でスペースを仕切っているだけなので、異年齢の子ども間での交流が多いようです。



保育施設の運営は、保育専門の企業に委託していますが、担当者や保護者の声を聞きながら、食育にも力を入れ、季節の行事もきちんとやってくれるので園児は増える一方とのこと。

訪問した日は、夏真っ盛り。最初、子どもたちの姿が見当たらず、どこへ?と思いきや、しばらくすると大きなバルコニーにあるちびっこプールで遊んでいた子どもたちが元気に戻ってきました。

医薬研究本部全体がこの湘南研究所に移動したため、大阪に勤務、住んでいた社員が多く、見知らぬ地域でどの保育園に預けるか、すぐ保育園に入れるのだろうか、といった不安や待機児童の問題を解決して、安心して働ける環境を作るために社内保育施設は、どれほど父親、母親にとって心強いかと感じました。



一時保育もあります。配偶者が仕事を辞めてきている人もいますので、求職活動で、面接に行く日の利用もできます。

研究所のなかの保育所ということで、外遊びは制約があることなど、



保育施設は建物の2階ですが、午前中1回、敷地内の「桜の広場」に出かけています。

まだ課題もあると話していましたが、子どもが発熱したときにも同じ敷地にいることですぐに迎えに行けるなど、安心して育児と仕事を両立するためにこのような社内保育所が増えるといいですね。



## 育休の取得UP



### 最後に、担当者の方より…

女性社員はもちろん、ここ数年は男性社員の育児休暇取得率が伸びています。働きやすい計画を立てることも大切です。子育てと両立させながら働くということも大きなことです。

育休を取得するとき、最初の5日間は有給としたので、男性の育休取得が伸びました。ホームページで男性も育休を取りましよう働きかけました。また、職場で上司が、働きかけることもかなりありました。子供が生まれたが、関西地区に家族が残っており、しばらく帰省して世話をするために育休を取った人もいます。

また、講演会やセミナーに参加したり、社内報で、育休を取った男性を紹介したなかで「子供と一緒にいるので楽しかったです」という感想も寄せられました。だんだん男性社員が育休を取っても当たり前というようになりつつありますね。

(大山・佐野 記)

- 秋の一句 ~名月のオーラを浴びようウォーキング~ 今年の夏も酷暑でしたね。(遠藤)
- 雷雨が晴れた青空にひつじ雲をみつけた。スニーカーに履き替えて街に出よう。まさに湘南はお散歩日和!(川辺)
- 情報紙やホームページをチェックしてみると新しい発見があります。市内の施設を上手に活用してみてもは?(^^)(岸田)
- 社内保育所取材で久しぶりにバリバリ働く女性にお目にかかれました。いろんな分野で頑張っている方に会うと元気と刺激がもらえますね!(佐野)
- 春にまいたまわりは、30本ほど咲きました。背の高いもの、低いもの、枝ひまわりもあり、いろいろです。(大山)

# インフォメーション

## ふじさわワーク・ライフ・バランス推進会議が 開催されました

7月24日に開催された「ふじさわワーク・ライフ・バランス推進会議」では、労働団体・経済団体・企業・大学・NPO、行政等がそれぞれの課題に主体的に取り組むとともに、連携・協働して、まだまだなじみのない「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」をわかりやすい形で市民の皆さんや働く皆さんに発信するため、どのような立場にあっても理解と共感が得られるようなアピールについて意見を交換し、藤沢らしさを盛り込んだ宣言文案を作成しました。また、親しみを持っていただけるように、宣言をイメージしたイラストも挿入する予定です。「ふじさわワーク・ライフ・バランス宣言」は、次号のかがやけ地球で紹介いたしますので、乞うご期待!!

## 2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業 共に生きるフォーラムふじさわ2012

### ■講演テーマ・内容

「男のチカラを活かそう!

～地域の出会い 知り合い 助け合い～  
リタイア後の出番づくりに備え、  
地域デビューしたい男性の方に!  
男性を地域へ後押ししたい女性の方にも!



### ■講師

村上 信夫氏(元NHKエグゼクティブアナウンサー)

■と き 11月3日(土) 13:30～15:30(開場 13:00)

■ところ 藤沢市役所 第3庁舎2階第3会議室(藤沢市朝日町1-1)

■定員 90名(申し込み順・無料)※手話通訳・保育(2歳以上の未就学児)あり

### ■申し込み・問い合わせ

10月1日(月)午前8時30分から藤沢市ホームページ電子申請予約、電話、ファクスまたはEメールに住所・氏名・電話番号・保育希望の有無(希望する場合は10月15日(月)までにお子さんの名前(ふりがな)・年齢・性別)を書いて共生社会推進課。内線:2133、FAX:(24)5928(共生社会推進課宛)、Eメール:kyousei@city.fujisawa.kanagawa.jpへ。

かがやけ地球は、市民の編集員さんの企画・運営によって  
年4回発行しています。

編集  
スタッフ 遠藤 倫子・川辺 裕子・岸田 弥生  
佐野 美穂子・大山 賢一

## 勤労市民課からのお知らせ

- 場 所 藤沢市労働会館(藤沢市本町1-12-7)
- 問い合わせ先 藤沢しごと相談システム運営センター(労働会館内)  
申し込み先 TEL.23-8222 FAX.23-8277  
(月～土曜日(祝日除く) 9:00～17:00)
- 申し込み 随時受付(定員になり次第締め切り)。電話または来所で。  
上記「藤沢しごと相談システム運営センター」へ。

## 就職支援個別カウンセリング

- 内容: 就職に向けた相談に個別アドバイスします。
- 日時: 毎週水曜日、土曜日 9:30～16:00(祝日・祝日翌日は除く)  
1人1時間以内
- 対象: 市内に在住または在勤・在学の転職・就職を希望する方[各日5名以内]

## 職業支援セミナー「新卒・第2新卒の就職活動」(若年者対象)

- 内容: ①オリエンテーション ②求職活動の心構え ③就活環境の理解  
④自己理解・職業理解 ⑤応募書類 ⑥面接対策
- 日時: 10月2日(火) 9:30～12:30
- 対象: 市内に在住または在勤・在学の転職・就職を希望する方[20名]

## 職業支援セミナー「湘南合同就職面接会対策講座」

- 内容: ①湘南合同就職面接会とは? その活用方法  
②雇用をめぐる湘南地区の現状 ③大切な業界・企業研究  
④自己理解・PR ⑤応募書類対策 ⑥面接対策
- 日時: 10月18日(木) 9:30～12:30
- 対象: 転職・就職を希望する方(学生を除く)[20名]

## 無料職業紹介(マッチング)

- 内容: 地域の求人情報をもとに、無料でお仕事を紹介します。
- 日時: 毎週水曜日～土曜日 9:30～16:00(祝日・祝日翌日は除く)  
1人1時間以内
- 対象: 市内に在住または在勤・在学の転職・就職を希望する方[各日5名以内]

## 一級技能士の店

各種看板・設計・施工

## (有)作画社

藤沢市片瀬1-2-8 (〒251-0032)  
TEL 0466(23)6124 FAX 0466(24)1751

藤沢・茅ヶ崎・寒川 “湘南”がエリアのFM放送局



<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121

## 古書・アウトレット本 買取と販売

買取 ご不要なもの、お売りください。※一部、買取れない品もあります。  
買取(買取品目)書籍・CD・DVD・ゲームソフトなど  
お売りいただく際は身分証明書のご提示をお願いいたします。

アウトレット本と古書の販売 詳しくは、下記ホームページで  
発売後、読者の手に渡らず出版社に在庫されていた未読の本(アウトレット本)を  
旧定価の20～80%OFFで販売します。他に珍品や稀少本など古書も扱っています。

藤沢駅(南口)前・有隣堂藤沢店5階

リブックス藤沢店 (ReBOOKS)



☎0466 26 1411(有隣堂藤沢店代表番号) ●ホムベジ <http://www.yurindo.co.jp/>

ART INAMOTO Co., Ltd.



女性スタッフを中心に細心・斬新・良質なクリエイティブワークを。

Graphic Design・Advertisement・Sales Promotion・Website

グラフィックデザイン  
有限会社 アート稲元

[www.art-inamoto.co.jp](http://www.art-inamoto.co.jp)  
〒251-0002 藤沢市大鋸 1-9-3 Tel.0466-25-4019